



あけましておめでとうございます。2023年も字幕付きCM普及に鋭意取り組んでまいります。

今回は一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（以下IAUD）に非常に示唆に富むお話を聞くことができました。皆さんIAUDという団体をご存じでしたでしょうか。IAUD・CM字幕プロジェクトの活動をご紹介します。



一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 CM字幕プロジェクト 主査・高橋雅尚氏、副主査・土屋亮介氏、松森果林氏、メンバー・宮城英明氏、白川幸宏氏、安藤嘉教氏

一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD) <https://www.iaud.net/>は、「ユニヴァーサルデザイン (UD) の更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」、UDを普及・発信させるために国際的に活動をしている団体。様々なプロジェクト活動とともに、国際UD会議、IAUD国際デザイン賞なども実施。

CM字幕プロジェクトは2006年から活動をスタートし、2022年で16年目。PJは聴者4名、ろう者3名で構成。「テレビCMにも字幕を」をコンセプトに、生活者や当事者を中心に、広告主・放送局・総務省・字幕制作会社・広告会社など多方面へ積極的に働きかけを行われていらっしゃいます。松森果林さんは「いろいろな人に助けられて、16年という年月、CMに字幕を! と呼びかけてきました。昨年10月から字幕付きCMがとても増えたことを実感しています。」とおっしゃってくださいました。

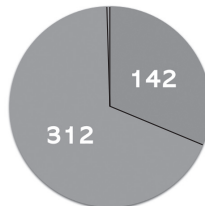
松森果林さんには、字幕付きCM普及促進協議会主催第2回、第6回字幕付きCMセミナーでの講演、「字幕付きCM 5つのお話 (動画)」YouTube出演など、普及活動に多大なご協力をいただいています。

CM字幕プロジェクトでは、字幕WEBアンケートを過去2回行っていらっしゃいます。

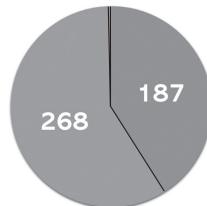
2020年度第2回WEBアンケート集計結果資料 (速報版) を基にお話を伺い、ここでは「CM字幕の認知度」と「CMに字幕が必要だと思う会社」の2つの調査を掲示します。

◆「CM字幕の認知度」

あなたは字幕付CMを見たことがありますか？

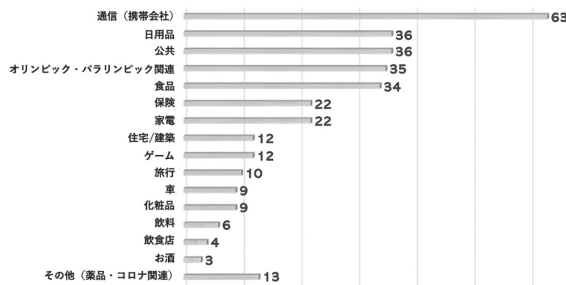


あなたは一部のCMに字幕がついていることを知っていましたか？



N=456

◆「CMに字幕が必要だと思う会社」



「字幕付きCMを見たことがあるか」という問いでは聴者も聴覚障害者も共に、「まだ見たことがない」が68.4%。そして、字幕CMの認知は「知らなかった」が半数の58.8%です。字幕が必要だと思う会社は、通信 (携帯) がダントツに多く、続いて、日用品・公共・オリンピックパラリンピック・食品と続きます。コロナの影響もあり、薬品などの希望も目立っています。

字幕CM協議会の2022年調査でも字幕付きCMでの好意度と理解度の向上は顕著でした。IAUDアンケートでも字幕付きCMを見た気持ちとして、「商品の特徴が伝わり理解でき興味につながる。企業選択度や好意度もあがる。」「字幕があるCMの商品を買いたい!」「差別をしない企業のファンになる!」等が重要なポイントとして挙げられています。

昨年10月から字幕付きCMがスポット枠でも放送されるようになり、IAUDの関係者の皆さんも字幕付きCMを見る機会が増えたと感じておられます。一方、メンバーの方からは「英国での字幕CM普及状況は40%」に達するとのこと。日本での普及状況は日本ポストプロダクション協会 (JPPA) さんの協力により、制作本数などはつかめています。が、放送された割合のデータとしての把握は今後の検討課題です。

CM字幕プロジェクトの高橋さん、松森さん、宮城さんは、昨年9月27日に筑波技術大学で聴覚障害を持つ大学生を対象に講義をされています。

そこであったあるエピソードをIAUDさんから伺い、更に前向きな意見交換会となりました。(…2月号に続きます。)

(ご質問は事務局 info@jaaa.ne.jp まで)